

## 戦略2 えべつの将来を創る産業活性化

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 経済部 関係部局 総務部、健康福祉部

### めざす姿

- 農業・商業・工業等の連携により産業が活性化し、まちの活力が高まります。
- 市内での就労人口や交流人口が増加し、市内がにぎわいと活気に満ちています。

### 戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	決算額								予算額	
	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
2 A 産業間連携等による産業の活性化	28,006	千円	25,678	千円	25,231	千円	21,248	千円	24,476	千円
2 B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開	10,811	千円	34,617	千円	63,922	千円	93,717	千円	92,804	千円
2 C 雇用の創出と人材育成の支援	4,110 (28,552)	千円	49,910 (702,592)	千円	47,443 (234,801)	千円	45,722 (235,864)	千円	43,620 (323,903)	千円
2 D 地域資源の活用による観光の振興	4,559	千円	4,902	千円	15,744	千円	31,038	千円	34,227	千円
計	47,486 (28,552)	千円	115,107 (702,592)	千円	152,340 (234,801)	千円	191,725 (235,864)	千円	195,127 (323,903)	千円

※（ ）は他戦略との重複分  
 ※H28年度はH27年度補正前倒し含む  
 ※H27・28年度は完了した事業の金額も含む

### 戦略プロジェクト2 A 産業間連携等による産業の活性化

**【プロジェクトの目標】**  
 それぞれの産業や企業単独ではなく、江別市の特徴的な取組である産学官連携・農商工連携を強化し、多様な主体が連携して地域に根差した産業集積をはかるとともに、大学・研究機関に恵まれた江別市ならではの知的資源や学生の力を活かした産業の活性化をめざします。

#### ◆成果指標2 A-1 (産学官・産業間連携の) プロジェクトによる新アイテム開発取組数(累計) (単位: 件)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
0	2	3	4	4		5

#### ■成果動向(評価)

江別経済ネットワークによる異業種間連携強化を進めるとともに、それぞれの産業や企業単独ではなく、積極的な情報交換と人的交流を促進する場を継続的に確保したことや、産学官連携に基づく交流や共同研究から新たなアイテムの開発等が行われてきました。新商品開発モデル事業等の実施により、成果指標2 A-1の産学官連携のプロジェクトによる新アイテム開発取組数としては、これまで4件のアイテム開発につながっています。

#### ■改善案(次年度へ向けた展開・課題・推進方向性)

新アイテムの開発は、異業種間での交流の繰り返しの中から時間をかけて生まれてくるものであり、今後も江別経済ネットワークなどの異業種交流・産業間連携の継続や、国などとも連携を深めながら新しいアイテムの開発に向けた働きかけを続けることで、新規産業の創出や既存企業の高度化などを図り、新製品の開発や雇用拡大などにつなげ地域経済の活性化を目指します。

◇推進プログラム2 A-① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援

<課題>

○市内にある大学・研究機関のほか、多様な事業者の有利性を活かす

<取組の概要>

- ・市内の経済活動や産業の市民や企業へのPRによる連携のきっかけ作り
- ・農商工、産業間連携等による新製品開発・販路開拓の支援により産業を活性化
- ・地域産品開発プロジェクトの立ち上げ、情報提供
- ・研究成果発表の機会の増加による異業種間連携強化（新製品開発に係るPR、試食会の支援等）

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
経済活動広報事業	広報した産業・企業数	9 件	18 件	6 件	
	事業費	900 千円	4,230 千円	3,348 千円	
商工業活性化事業	補助金の活用件数	15 件	10 件	15 件	
	事業費	4,469 千円	981 千円	3,930 千円	
江別経済ネットワーク事業	例会参加者数	168 人	167 人	150 人	
	事業費	368 千円	93 千円	111 千円	

◇推進プログラム2 A-② マーケティングの視点に基づいた産業振興

<課題>

○商品の高付加価値化や販路拡大のノウハウを持つ事業者の育成

<取組の概要>

- ・商談会等による販路拡大のほか、道外、海外への出展に対する一体的な支援
- ・江別産農畜産物を使った加工品の開発
- ・成果発表の機会と協賛企業の掘り起し
- ・製品試作企業を掘り起し、商品化コーディネート、マーケティング調査

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
食を軸とした地場産品販路拡大支援事業	商談会・催事出展企業数	34 社	48 社	34 社	
	事業費	448 千円	456 千円	586 千円	
商工業活性化事業【重複】2 A-①	補助金の活用件数	15 件	10 件	15 件	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
江別経済ネットワーク事業【重複】2 A-①	例会参加者数	168 人	167 人	150 人	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
総合特区推進事業【重複】2 A-④	食関連企業の新増設数	2 社	0 社	2 社	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2 A-③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援

<課題>

○地域の特性を活かした商店街の魅力づくり  
○高齢者や学生、地域住民など多様な主体や様々な世代の交流による商店街の活性化

<取組の概要>

- ・学生や地域住民、高齢者によるコミュニティ活動等の商店街への参入促進（商店街への参入促進のため、各種支援制度や成功事例を紹介するセミナーの開催、希望者への相談・支援の実施）
- ・魅力あるテナントの誘致など商店街活性化に向けた取組を支援（商店街の要請により出店したテナントの出店経費に対する補助、地域課題解決のためのコーディネーター配置）
- ・商店街の活性化を目的としたイベント等への支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業	相談件数	119 件	93 件	70 件	
	誘致件数	1 件	0 件	0 件	
	事業費	7,207 千円	2,849 千円	2,454 千円	
商店街参入促進事業	セミナー参加者数	57 人	39 人	50 人	
	参入相談件数	0 件	0 件	2 件	
	事業費	293 千円	327 千円	300 千円	
商工業活性化事業【重複】2 A-①	補助金の活用件数	15 件	10 件	15 件	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2A-④ 大学・研究機関との共同研究の推進

<課題>

- ネットワークの活向上
- 連携強化の仕組みづくり

<取組の概要>

- ・連携強化と自立的な運営に向けた仕組みづくり
- ・食の臨床試験に関する支援
- ・既存補助金の利活用による産学連携の取組支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
総合特区推進事業	食関連企業の新增設数	2 社	0 社	2 社	
	事業費	11,546 千円	12,312 千円	13,747 千円	

戦略プロジェクト2B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開

【プロジェクトの目標】

江別市の基幹産業の一つである農業が、第2次産業・第3次産業と連携して実施する江別産農畜産物の高付加価値化の取組や立地環境を活かした食関連産業の集積を図るとともに、江別産の「食」について市内・道内はもとより道外・海外といった広域的な市場ニーズに合わせた販路拡大への取組などを支援します。

◆成果指標2B-1 えべつ産の農産物加工品認定数（累計）（単位：件）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
0	5	7	9	11		22

■成果動向（評価）

農畜産物加工品の主な原材料を江別産とすることなどを条件とした認証制度が、平成26年度からスタートしており、初年度は、ケチャップ、ジャム、ジュースなど5件が認定され、平成27年度以降、各年度2件が追加認定されています。農業者自らが農業の閑散期などを利用して商品開発や製造等を行うため、単年度に多くの件数増は見込めませんが、次年度以降も着実に件数を増やしていくことで、江別の農産物加工品のPR及びブランド力の向上に寄与するものと考えます。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

認定を受けた安全安心な地元農産物加工品の認知度を高め、販売促進や今後の認定件数の増を図るため、直売所やイベントでのPR等を推進していきます。  
平成28年度からは農畜産物の加工新商品開発等に対して補助を実施し、また、平成29年度からは都市と農村の交流センター内のテストキッチンが稼働し、自身で工房を持たない農業者でも商品開発が可能となったことから、次年度も補助を継続し、新たな商品開発や既存商品のレベルアップを支援していきます。

◇推進プログラム2B-① 「食」の付加価値を高める産業の集積

<課題>

- 企業立地を推進するための江別市の魅力付け
- 企業間連携を図るための企業情報の収集・PR

<取組の概要>

- ・企業ガイド等の作成、更新などによる市内企業のPRと企業間連携の促進（工業団地協同組合等との連携）
- ・フード特区制度や企業立地にかかる補助制度の運用による食関連企業等の立地促進（H26 江別市企業立地等の促進に関する条例施行）

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
企業誘致推進事業	立地企業・事業所数	2 社	4 社	4 社	
	事業費	1,479 千円	1,576 千円	1,982 千円	
企業立地等補助金	補助金認定件数（累計）	27 件	30 件	32 件	
	事業費	55,846 千円	87,749 千円	83,814 千円	

◇推進プログラム2B-② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援

<課題>

- 市内企業の海外進出はごく一部に限定的
- 海外展開のリスクに耐えられる企業の体力づくり強化
- ブランド品を維持・拡大するための支援
- 市内外への継続的なPR
- 需要を伸ばすための支援
- 加工品開発のノウハウ等支援
- 農畜産物の高付加価値化
- 販路拡大等の支援
- 6次産業化・グリーンツーリズムの推進
- 海外展開支援

<取組の概要>

- ・広報等メディアの活用や市民農園見学会等の開催を支援
- ・生産者と実需者との意見交換
- ・消費者向けイベント等の開催を支援
- ・江別産農畜産物を活用した商品化の支援
- ・加工品フェア等の開催を支援
- ・消費者と生産者の相互理解の場の開催を支援
- ・加工品製造者や生産者による研修会開催等を支援
- ・指導機関等のセミナー情報等を提供する
- ・地域のブランド品表示等の支援
- ・地域ブランドの一覧表を作成し一体的にPR
- ・商談会への出展等の支援
- ・都市と農村の交流センターを活用した商品開発等の支援
- ・関係機関等と連携した商品PRの実施などによる海外販路開拓支援
- ・輸出補助金

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
都市と農村交流事業	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	526,212人	580,762人	529,000人	
	イベント参加者の満足度	100%	95%	80%	
	事業費	1,647千円	1,266千円	1,600千円	
6次産業化支援事業	協力隊員数	1人	—	—	H29から指標を変更
	テストキッチン利用者数	—	356人	1,100人	
	交流センター利用者数	—	31,840人	16,100人	
	事業費	2,371千円	1,649千円	2,529千円	
江別産農畜産物ブランディング事業	特産品の認知個数	2品目	2品目	2品目	
	事業費	2,579千円	1,477千円	2,879千円	
総合特区推進事業 【重複】2A-④	食関連企業の新増設数	2社	0社	2社	
	事業費	—千円	—千円	—千円	

戦略プロジェクト2C 雇用の創出と人材育成の支援

【プロジェクトの目標】

「働きたいまち・えべつ」・「企業が立地したいまち・えべつ」をめざして、企業にとって魅力的な立地環境を整備するなど、企業立地の促進による雇用創出と、企業が必要とする労働力を確保するための就労支援・人材育成に一体的に取り組めます。

◆成果指標2C-1 市内企業へ就職した市内の新卒者数（高校・大学）（累計 単位：人）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
45	55	111	174	229		250

■成果動向（評価）

市内には高校5校、大学4校、短大1校があり、その卒業生が地元就職することは市内産業の発展や人口減少への対策として重要です。平成29年度は前年に引き続き、高校生及び大学生に対する市内企業への情報提供に努めた結果、市内企業に就職した高校・大学の新卒者は55人となり、目標の年間50人を上回りました。また、有給インターンシップ事業による大学生の派遣事業では、今後、参加する学生が卒業年次に達する時点で、その成果が期待できます。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

平成30年度においても、高校生に対しては、就職支援事業を継続実施し、市内企業への就職者の増加を図ります。大学生の有給インターンシップでは、研修拠点（アルバイトえべつ）をより活用した社会人交流会や説明会などを複数回にわたり開催することによって、事業に参加する意義を大学内にPRしながら、質の高い学生の確保を目指します。

◇推進プログラム2C-① 企業誘致のための条件整備

<課題>

- 新たな補助制度の周知
- 工業用地の確保
- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応

<取組の概要>

- ・企業立地の補助制度のPRによる企業立地の促進
- ・企業誘致のための新たな工業用地の確保
- ・待機児童解消の推進（子ども・子育て支援事業計画に基づき民間事業者への支援を行い、教育・保育提供体制を拡大）

事務事業	指標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備考
待機児童解消対策事業 【重複】3A-①	入所できた児童数	77人	107人	168人	
	事業費	(156,909)千円	(235,864)千円	(323,903)千円	
企業立地等補助金 【重複】2B-①	補助金認定件数（累計）	27件	30件	32件	
	事業費	—千円	—千円	—千円	

◇推進プログラム2C-② 潜在労働力の掘り起こし（就労支援）

<課題>

- 市内企業の求人に対する十分な労働力の確保
- 子育て等をしながら働きたい女性の課題解消

<取組の概要>

- ・求人企業による説明会や就職意欲を喚起するセミナーを併せたイベントの開催
- ・子育て支援施設に隣接した就職相談窓口を開設し、就職に向けた相談や求人情報の提供等により女性の就職を促進
- ・就職に向けた座学研修や職場実習実施による実践的な職務能力を備えた人材を育成し、就職を支援
- ・待機児童解消の推進（子ども・子育て支援事業計画に基づき民間事業者への支援を行い、教育・保育提供体制を拡大）
- ・障がい者の就業支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
働きたい女性のための就職支援事業	就職支援セミナー来場者数	117 人	108 人	96 人	
	就職者数	49 人	58 人	50 人	
	事業費	21,813 千円	20,959 千円	18,574 千円	
障害者就労相談支援事業	年間延べ相談件数	988 件	950 件	876 件	
	一般就労件数	8 人	17 人	10 人	
	事業費	9,088 千円	9,159 千円	9,159 千円	
待機児童解消対策事業【重複】3A-①	入所できた児童数	77 人	107 人	168 人	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2C-③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援

<課題>

- 市内大学・高校等から市内企業へ就職する者の増加
- 市や市内企業等で活躍する人材の増加
- 大学生を市内での就業につなげる実践的な仕組みの整備

<取組の概要>

- ・大学生対象のインターンシップ（就業体験）推進等による学生と企業両者への支援
- ・インターンシップや面接指導等による市内高校生の就職支援
- ・大学生の人材育成を目的とする市役所での長期インターンシップ（実学教育）の実施
- ・インターンシップの効果検証と商工会議所、民間企業等への情報提供、啓発

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
有給インターンシップ等地域就職支援事業	有給インターンシップ参加学生数	45 人	46 人	55 人	
	事業費	11,251 千円	13,036 千円	13,093 千円	
高校生就職支援事業	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	93 %	95 %	100 %	
	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	86 %	88 %	100 %	
	事業費	2,500 千円	2,500 千円	2,402 千円	
市内大学等インターンシップ事業	将来、市や市内企業等で働きたいと思う学生の割合	87.5 %	88.9 %	100 %	
	インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	100 %	100 %	100 %	
	事業費	93 千円	68 千円	392 千円	



戦略プロジェクト2D 地域資源の活用による観光の振興

【プロジェクトの目標】

石狩川や野幌森林公園などの豊かな自然、地場産品、公共施設や歴史的建造物など、既存の地域資源を再評価し、観光資源として有効活用するとともに、大都市である札幌市に隣接しているという地の利を最大限に活かした、江別市ならではの観光を推進します。

◆成果指標2D-1 主要観光施設の利用者数（単位：人）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
126,000	147,407	181,600 (239,800)	174,638 (434,444)	174,498 (348,600)		132,600 (430,000)

\*上段（H27～）は、未来戦略策定時の主要観光施設5施設の値  
 下段（H27）は、未来戦略計画策定後に整備された主要観光施設を含めた計6施設の値（アースドリーム角山が加わる）  
 下段（H28～）は、未来戦略計画策定後に整備された主要観光施設を含めた計7施設の値（アースドリーム角山とEBRIが加わる）

■成果動向（評価）

平成28年にオープンしたEBRIのオープニング効果が落ち着き、計画策定後に整備された施設を含めた観光入込客数は減少したものの、観光入込客数が増加した施設も散見されたほか、主要観光施設の観光入込客数は前年度並みとなり目標値を上回ったことは、江別の特性を活かした観光PRを展開してきたことが成果となって表れてきたものと考えます。  
 また、「食と農」、「歴史あるれんが」を軸にした観光資源と、札幌市に隣接している立地的な強みを最大限に活かすため、まずは道央圏からの誘客を目指す江別市観光振興計画を策定しました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

江別市観光振興計画に基づき、「食と農」、「歴史あるれんが」を軸に、道央圏からの誘客を目指すため、観光資源による魅力創造などに取り組むとともに、観光資源の認知度向上・交流人口の増加などのため、効果的な観光プロモーションに取り組んでいきます。  
 また、市民や事業者の活動が観光に関わっていることを実感してもらい、良き情報発信者・良き実践者として活動してもらえようという取り組みを進めてまいります。

◇推進プログラム2D-① 地域資源の観光への有効活用

<課題>

- 市外における「江別」の認知度の向上
- 大都市札幌に隣接している優位性を十分に活かす
- 市外への継続的なPR
- 江別の特産品や観光情報等の発信

<取組の概要>

- ・札幌に近接する地の利を活かし、れんが・食・体験など多様な資源を観光プランとして、ターゲットを絞った旅行雑誌など効果的な広告媒体の利用による観光PR
- ・ウォーキングやドライブコースの紹介などによる、江別の魅力発信
- ・札幌圏を対象とした農業体験バスツアーの実施
- ・歴史的建造物を活用した観光・物産等のプロモーション
- ・地域おこし協力隊を活用した地域資源を活かしたPR活動、イベント事業等のサポート、各種団体が行う事業のコーディネート
- ・江別市観光振興計画の策定

事務事業	指標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備考
観光振興計画策定事業	観光入込客数	— 人	915,337 人	1,046,102 人	H30事業名変更
	計画策定数	—	1 計画	— 計画	
	事業費	— 千円	13,892 千円	16,000 千円	
地域発見魅力発信事業	主要観光施設観光入込客数 (未来戦略策定時5施設)	174,638 人	174,498 人	174,638 人	
	主要観光施設観光入込客数 (H27:6施設H28:7施設)	434,444 人	348,600 人	434,444 人	
	事業費	4,877 千円	6,511 千円	6,978 千円	
江別アンテナショップGET'S管理運営事業	アンテナショップ来店者数	42,250 人	32,486 人	42,250 人	
	アンテナショップ来店者数(市外)	16,296 人	11,516 人	16,296 人	
	事業費	8,224 千円	7,695 千円	8,577 千円	
都市と農村交流事業【重複】2B-②	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	526,212 人	580,762 人	529,000 人	
	イベント参加者の満足度	100 %	95 %	80 %	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2D-② 観光資源のパッケージ化

<課題>

- 札幌近隣において主流の都市型観光の促進
- 個別の観光情報の提供

<取組の概要>

- ・発掘した地域特性や魅力を観光プランに盛り込み、交通手段別（車・自転車・徒歩・公共交通機関）、目的別（れんが・食・体験、健康等）に応じた多様な観光ルートの提案
- ・旅行雑誌、ホームページなどの広告媒体の利用による観光PR

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
江別観光協会補助金	観光協会事案件数	8 件	9 件	8 件	
	事業費	2,643 千円	2,940 千円	2,672 千円	
観光振興計画策定事業 【重複】2D-①	観光入込客数	— 人	915,337 人	1,046,102 人	H30事業名変更
	計画策定数	—	1 計画	— 計画	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
地域発見魅力発信事業 【重複】2D-①	主要観光施設観光入込客数 (未来戦略策定時5施設)	174,638 人	174,498 人	174,638 人	
	主要観光施設観光入込客数	434,444 人	348,600 人	434,444 人	
	H27:6施設 H28~:7施設 事業費	— 千円	— 千円	— 千円	